

令和4年度事業計画書

基本方針

長期化する新型コロナウイルス感染拡大の影響により、子育て環境はめまぐるしく変化しています。休園・休校や外出機会が減少したことで、子どもと過ごす時間が増え、会話や遊ぶ時間が多くなり、子どもと距離が近づいたというメリットがある反面、育児と家事の両立がうまくいかず、ストレスや不安を感じる親もいることは否めず、社会的弱者である子どもへのしわ寄せが一層懸念されています。また、地域の人と人とのつながりの希薄化により、普段から不安感や孤独感を感じている子育て中の親にとっては、益々孤立化してしまいかねず、その対応も急務となっています。

このような状況だからこそ、ぐんまこどもの国児童会館では、基本理念である『こどもファースト!』のもと、子どもの気持ちに真摯に寄り添いながら、少しでも楽しい時間を過ごしてもらえよう、安心して過ごせる居場所とわくわくする空間と時間を、そして大人にとってもホッとできる場を提供すると共に、県内唯一の大型児童館として、県内における子どもの健全育成の環境づくりにも努めてまいります。

併せて、当館の設備や機能の更新等これからの施設のあり方について群馬県と適宜意見交換を行い、リニューアルに向けて取り組んでいきます。

【数値目標】

	令和4年度	令和3年度	
		目 標	見 込 み
入館者数	100,000人	100,000人	65,000人
プラネタリウム利用者数	16,000人	15,000人	13,000人
移動児童館利用者数	1,300人	1,200人	900人
実施事業の満足度	93%	83%	93%
館全体の利用者満足度	92%	90%	92%
ホームページ閲覧数	83,000アクセス	67,500アクセス	81,000アクセス

※令和3年8月20日から9月30日まで群馬県に緊急事態宣言が発令されたため、臨時休館とした。

開館中は新型コロナウイルス感染拡大予防のため利用制限を実施

1 育成事業

(1) 企画事業 8,337千円

児童会館の機能と特性を活かし、学校の長期休暇等にあわせて、子どもから大人まで楽しめる体験型の大型イベントを開催します。周辺の自然環境を活用した活動や、家族で楽しめる遊び場の提供等、コロナ禍でも対応できるよう工夫して計画する他、引き続き遊びの重要性を感じてもらえる企画を提供します。

	ゴールデンウィーク企画	4～ 5月	体験型の企画展の開催と児童福祉週間の啓発行事を開催する
	夏の特別企画	8月	幅広い年齢層の子どもや親子等が楽しめる話題性のあるイベントを開催する
	秋の特別企画	10月	ハロウィンにあわせて、趣向を凝らしたイベントを実施する
	冬の特別企画	12～ 1月	クリスマスからお正月にかけて季節感あふれるイベントを開催する
	春のこどもの国フェスティバル	3～ 4月	健全育成の視点にたち、子どもや親子等へ楽しさや喜びを感じてもらえる空間を提供する
	季節行事	1回	金山総合公園と共催でクリスマスを盛り上げるイベントを開催する
	こどもわくわく劇場	随時	アマチュア劇団や地域団体、学生等の活動発表の場を提供する
	こども観劇会	1回	プロの劇団等を招いて、良質な劇や音楽会を開催する
拡	にこっとちゃんとあそぼう	2回	マスコットキャラクターと一緒に遊び参加者と交流を図る
	にこっと自然学校	1回	金山総合公園や周辺の豊かな自然環境を活用し、様々な遊びにチャレンジする機会を提供する
新規	トイレールであそぼう	4回	プラレール等の自由遊びの場を提供する
新規	伝統芸能にふれよう	1回	日本の伝統文化に触れる機会を提供する
新規	チャレンジ！ジャグリング	1回	ジャグリング体験の場を提供する
	アースデイ	1回	地球環境イベント「アースデイ」の趣旨に賛同し、体験型のブースを出展する
	おおた・まちの先生見本市	1回	地域貢献の一環として「おおた・まちの先生見本市実行推進協議会」が行う事業に出展する

(2) サイエンスワンダーランド 3, 853千円

科学展示室は、幅広い子どもたちの利用の場であり、日常点検や定期的な保守点検を通じ安全第一に運営します。講座等においては、身近な現象から子ども達に興味をつなげられるような、実験ショーや科学工作体験の他、県内高校や地域団体の協力を得て、学校や家では体験できないプログラムを提供します。

	一般展示	通 年	常設展示
	ハイビジョンシアター プチ映画館	通 年	土日祝日、長期休暇にCS放送、DVD等を放映する
	プチサイエンスショー	3回	身近な科学現象を題材にした実験ショーを実施する
	科学工作	随 時	高校生や地域団体による科学工作実験や、職員による工作教室を開催する
拡	科学講座	3回	専門講師や職員による体験型講座を開催する
	おもしろ科学教室	3回	小中学生を対象とした科学教室を開催する
	サイエンス集団利用	通 年	学校等の団体利用者に向けた科学工作・科学実験ショーを実施する

(3) スペースシアター 16, 032千円

プラネタリウム機能を最大限活かし、こどもを中心に幅広い年齢層が楽しめるプラネタリウム作品の上映の他、子ども達が天文や宇宙への興味・関心を持てるような特別企画を開催します。団体投影については年代に合わせた番組とし、全国または県内プラネタリウム関係団体の会員との交流や情報交換から、最新のトレンドを収集し、幅広い年齢層が楽しみや癒やしを感じる空間を提供します。

	プラネタリウム	通 年	幼児・こども向け等の番組を投影する
拡	プラネタリウム特別企画	12回	毎回テーマを設定し、特別なプログラムを投影する
	にこっとドーム	随 時	移動プラネタリウムにて星空解説等を行う
拡	おやこプラネタリウム	7回	乳幼児親子を対象とした特別番組を上映する
	こどもの国スターフレンド	4回	プラネタリウムの解説と実際の星空の観察会を開催する
	こども宇宙教室	1回	時季の天文に関する話題をテーマにした投影を行う
	プラネタリウム団体投影	通 年	星空の生解説と学年にあわせた学習番組を実施する
	星空掲示板	通 年	季節ごとの天文に関するトピックスや愛好家の天文写真等を掲示し、情報発信する

(4) クラフトルーム 760千円

身近にある自然素材、リサイクル素材など様々な素材を用い、いつ来ても違う工作が楽しめるプログラム提供を行います。また、プログラム終了後、作り方をホームページに掲載し広く紹介していきます。

	自由利用プログラム	8プログラム	身近な素材で幅広い年齢層に対応したプログラムを提供する
	季節プログラム	7プログラム	季節行事に合わせた工作プログラムを提供する
	チャレンジクラフト	5回	制作過程の多いプログラムを教室形式で実施する
	クラフトルーム集団利用	通 年	学校等の団体利用者に向けたプログラムを提供する

(5) プレイルーム 520千円

自由利用では就学前までの子どもがそれぞれの発達段階に応じた遊びが出来るよう遊具を配置します。遊具は県産材を活用した木育遊具を多く取り入れる他、新たに優良おもちゃに触れる機会を提供し、木のぬくもりを感じたりおもちゃで遊ぶ楽しさを家族で体験できる場を提供します。

	自由利用プログラム	1プログラム	年齢に応じた遊具を提供する
親	おもちゃの広場	12回	優良おもちゃの提供と、おもちゃコンサルタントによるおもちゃに関する相談の場を提供する
	わいわいひろば・だんらんひろば	通年	家族や仲間同士で楽しめるふれあいの場として開放する
	プレイルーム集団利用	通年	幼稚園等の団体利用者に向けたプログラムを提供する

(6) ビデオライブラリー 229千円

幼児から青少年に向けた優良なDVDソフトの視聴を通して、豊かな感性を育みます。映像を「観る」だけに留まらず映像の仕組みを学び、制作が体験できる講座を実施します。

	自由利用	通年	好きな番組を選び自由に視聴できる場を提供する
拡	わくわく映像教室	2回	大学生や専門講師による、アニメーション作品の制作体験の場を提供する

(7) パソコンルーム 782千円

年齢や興味に応じて選択できる自由利用プログラム運営のほか、タブレットを活用し、児童会館公式アプリ「にこっとちゃんとあそぼう」の体験の場を設け、普及に努めます。また、大学生や専門分野の方と連携し、プログラミング体験講座を実施します。

	自由利用	通年	インターネットやプログラミング、ゲームソフトの利用の場を提供する
	プリント工房	12回	パソコンで制作した作品を提供する
拡	パソコンプログラミング体験	2回	コンピュータ技術を活用しプログラミング体験の場を提供する

(8) こども図書室 215千円

絵本や児童書、コミック本を配架し、子ども達に本や読書に興味関心をつなげるようにするとともに、幼児から大人まで誰もが利用しやすい場所を提供します。また、絵本にちなんだ工作を取り入れたワークショップや、県内大学と連携して、群馬の大切な文化の1つである方言に親しむ場を提供します。

	自由閲覧	通年	月刊誌、絵本、コミック本、児童書、育児書等を提供する
拡	絵本の読み聞かせ	2回	館内または公園にて絵本の読み聞かせを行い、うち1回は、プラネタリウムを会場にして行う
	自転車紙芝居	1回	公園等で紙芝居の上演を行う
拡	絵本のワークショップ	2回	絵本の読み聞かせと、その絵本にちなんだ工作を行う
親	ぐんま方言かるた体験会	1回	共愛学園前橋国際大学の先生と学生を招き、ぐんま方言かるたの体験会を行う
	図書室集団利用	通年	団体利用プログラムによる絵本の読み聞かせを実施する

(9) 子育て支援事業 380千円

子育てに関心あるプログラムを取り入れ、親や祖父母などと一緒に活動ができる場を提供するとともに、周辺の自然環境を利用した事業を実施します。新規事業として、乳児の成長記録として人気のある寝転びアートを取り入れた講座を実施します。

おたんじょうてがた	11回	乳幼児の親子向け、成長記録に役立つ作品として提供する
にこにこサロン	11回	乳幼児向けの親子遊びや季節に応じた外遊びを実施する
子育てママのいきいきタイム	3回	子育て中の母親に向けた育児の一助となる講座やリフレッシュできるプログラムを実施する
パパとenjoy!	1回	体験活動を通して父子がふれあい、楽しむ場を提供する
ねんねでパシャリ!	2回	子ども達の成長を写真で記録する、寝転びアートの場を提供する
食育事業	10回	金山総合公園と共催の稲作体験や専門の講師を招いた講座、共愛学園前橋国際大学の先生方などを招いたイベントなどを実施する

(10) 子育て・子どもの居場所事業 506千円

子ども同士が同年齢や異年齢、家族と交流する中で、様々な活動ができる機会を提供する他、屋外での活動も積極的に推進し、職員が遊びを支援します。

あそぼうタイム	4回	講師やプレーワーカーと共に異年齢の子同士が集団ゲームや野外活動などを楽しむプログラムを提供する
中高生と乳幼児ふれあい事業	1回	中高生が乳幼児との遊び等を学び実践する場を提供する
あそぼー広場	随時	多目的ホール等館内のスペースを有効活用し、遊具や玩具を配置して様々なあそびを提供する
カプラであそぼう	通年	全国カプラ大会への作品応募や参加型ワークショップの開催、自由遊びの場を提供する
スポーツ教室	2回	専門の講師を招いた陸上教室やバスケ教室等を実施する
とことん外で遊び隊	3回	金山総合公園内でプレーワーカーを配置し定期的なあそび場を開催する
集団利用	通年	カプラで共同製作の楽しさを体験できる場を提供する

2 推進事業

(1) 児童館活動促進 1,746千円

県立大型児童館として地域児童館と相互連携し、子育て環境の充実や児童健全育成の推進を高め、児童館活動の活性化につなげます。児童館フェスティバルは、状況に応じた開催方法を検討し、県内児童館全体で取り組みます。

群馬県児童館連絡協議会	通 年	県内児童館との連携提携を図り、児童館の情報収集・職員研修等を行う県児連を運営し、児童館活動を推進する
児童厚生員等研修会	4回	児童厚生員、児童クラブ指導員等の資質向上を図るため、6科目 理論と実技科目の研修会を実施する
児童館長研修会	1回	児童館長の資質向上を図るための研修会を実施する
児童館職員交流会	1回	児童館職員で意見交換や情報等の共有を図る
群馬県内児童館フェスティバル	1回	県内児童館が一堂に会し、遊びや活動成果を発表する。状況に応じて開催方法を検討する
児童健全育成講演会	1回	一般及び児童健全育成関係者を対象に有識者を招き、講演会を開催する
群馬県内児童館実態調査	1回	児童福祉法第140条児童厚生施設に基づく県内の児童館と各市町村主幹課を対象に調査する
児童館紹介・パネル展	通 年	令和3年度に作成した県内児童館リーフレットをもとに、新たに児童館紹介パネルを作成し、月間だよりと共に館内に掲示する他、リーフレットの周知を図る。
遊具等貸出	随 時	県内の児童館や児童クラブ、健全育成関係団体等に遊具やDVD等を貸し出す

(2) ネットワークづくり事業 1,080千円

県内の子育て支援関係団体と連携し、プレーバス巡回（移動児童館）により、地域の子育ちと子育ての支援を行います。

プレーバス巡回（移動児童館）	通 年	県内各地に巡回し、遊びのプログラム等を提供する
児童劇団等の登録・派遣	通 年	県内の優良劇団を選定する
	6回	登録劇団等の鑑賞事業・遊びの出前を派遣する

(3) 組織化事業 724千円

定例会議を開催し、施設ボランティア同士の交流の場を提供すると共に、ボランティアの自主企画事業を援助し、組織として活動できるように促していきます。また、ジュニアスタッフでは、ボランティア体験を通じた社会参加活動を促進し、継続的なボランティア活動となるジュニアスタッフを養成します。

ボランティア運営	通 年	定例会議や事業への協力、養成講座を行い、施設ボランティアの増加に努める
ボランティア活動促進	通 年	活動成果の場を提供し、「おもちゃの病院」等自主企画の促進を図る
ボランティアまつり	1回	登録ボランティア、ジュニアスタッフ合同で、活動の発表等を行う
ジュニアスタッフ養成	通 年	小・中・高校生世代を対象に、子ども達の主体性を尊重した活動を通じて、ボランティア活動の意識向上を養う
ぐんま地域活動連絡協議会連携事業	通 年	母親クラブフェスティバルや三代交流事業を共催する

(4) 調査研究事業 1,049千円

障がい児・者利用促進プロジェクトでは、利用しやすい児童館づくりを目指し、平日来館する放課後等デイサービス事業所向けに多目的ホールの開放を行います。また、遊びのプログラム開発では、開発した遊びを移動児童館プログラムの1つとして提供する他、新たな遊びの開発に取り組みます。今年度発足したオンライン事業調査・研究プロジェクトでは、コロナ禍で需要が高まるオンラインイベントの運営方法や技術について調査し、職員によるオンライン形式のイベント開催に向け取り組みます。サービス向上委員会では、各種アンケートにより利用者の実施事業の評価やニーズを把握し、事業への反映や充実に努めます。

新	障がい児・者利用促進プロジェクト	通 年	障がい児・者が利用しやすい児童館づくりに取り組む
	遊びのプログラム開発・普及プロジェクト	通 年	遊びのプログラム開発及び、普及に取り組む
	オンライン事業調査・研究プロジェクト	通 年	職員によるZOOMを用いたオンラインイベントを実施する
	サービス向上委員会	通 年	各種アンケートにより利用者ニーズの把握等を行い、事業の充実や環境整備を図る

(5) 児童文化推進事業 1,877千円

情操を育む機会や国際交流団体との連携により身近な異文化に触れる機会を提供し、子どもの創造的な文化活動の充実に努めます。

ぐんまこどもの夢大賞	募集	1回	子どもたちが「夢」を描いた絵画作品と、童話作品を募集する（群馬県と共催）
	入選作品展	2回	入選作品を児童会館と群馬県庁で展示する
多文化交流事業		1回	外国文化の多様性に触れるため、世界児童画展示の他、民族楽器や民族舞踏の公演を開催する

(6) 子育て相談事業 264千円

子どもに関する育児の悩みや不安、生活習慣上の問題、子どもの発達などについて、来館または電話により相談に応じます。

こども・子育て相談室	電話相談等	通 年	一次相談窓口として職員による来館・電話による相談を受ける
	専門員相談	12回	臨床心理士や保健師による来館相談を事前予約で受ける

(7) 広報啓発事業 1,375千円

当館の魅力や各事業、子育てに関する情報を多くの県民に知ってもらうため、新しい広報媒体を発掘しながら継続的に発信していきます。また、リニューアルしたホームページの安定した管理運営と、電子受付システムを活用した事業に取り組みます。

新	ホームページの運営	通 年	イベント情報や県内児童館情報を発信する他、電子受付システムの活用に取り組む
	インフォメーションの発行	通 年	紙媒体でイベント情報を発信する
	「にこっと通信」発行	4回	機関誌として子育て情報を発信する
	出張！にこっとちゃん	1回	にこっとちゃんが地域に出向き、ふれあいやPRをする

郵便局連携事業	1回	地元郵便局と連携して子どもたちへ日本の伝統文化を伝える機会を提供する
にこっとちゃんと写真を撮ろう	2回	にこっとちゃんとの写真撮影会を実施する (金山総合公園と共催)
誘客キャンペーン	2回	こどもの国の認知度アップを図るため、にこっとちゃんを活用して利用者増加を目指す (金山総合公園と共催)
オレンジリボンキャンペーン	11月	児童虐待防止推進月間にあわせて取り組むことで来館者への意識啓発活動を行う
にこっとちゃんねる運営	通年	YouTube公式チャンネルを通じて、遊びのプログラム等を発信する
事業年報の発行	1回	年間実績報告書を作成し、関係機関へ送付する

3 その他の事業

貸出事業

県条例に基づき、多目的ホール及び研修室の貸出しを行います。

4 管理運営

(1) 法令等遵守

県各種法令を遵守するとともに事業団の各種規程等に則り、県民に対して説明責任を果たします。また、業務遂行上改正を要する内部要領等は指導機関等の助言を受け、適宜見直しを行います。

(2) 施設設備維持管理

来館者が安心して気持ちよく利用できるよう、設備の保守管理はもとより日々の施設内点検・清掃等を通じ、安全性を優先した管理に努めます。

修繕等が生じた際は、利用者の負担を最小限とすべく迅速な処置に努めるほか、群馬県と協議を図りながら計画的な設備の更新を図ります。

(3) 人材育成

職員の資質向上にあたっては、職務に必要な専門知識にとどまらず、事業団職員として必要な識見の涵養のため、職場内研修をはじめ外部団体等が実施する研修会へ参加するほか、他の職員との共有に努めます。